

1. 件名：「東海第二発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（4）」

2. 日時：令和4年6月2日（木）13時30分～14時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任
安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査
官、大井安全審査専門職

同 技術基盤グループ 地震・津波研究部門

呉 地震・津波政策研究官

日本原子力発電株式会社 開発計画室 室長代理

他6名※

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

資料1 東海第二発電所 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について（コメント回答：地震動評価）

資料2 東海第二発電所 既許可の地盤モデル及び基準地震動S_sの扱いについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁の方ですお疲れ様です。
0:00:03	お疲れ様でございます。
0:00:05	はい。そしたらこちらも人数そろいましたので準備が整ってればですねヒアリングを開始したいと思いますのですがよろしいですか。
0:00:14	はい、日本減少発電中でございますが、こちらも準備整えましたのでよろしくお願ひします。はい。それではヒアリング始めたいと思いますので資料の説明の方からお願ひいたします。
0:00:25	はい。
0:00:32	日本原子力発電のイクタマですが画面の方、
0:00:36	共有いたしますので、ちょっとお待ちください。
0:00:45	でもいい。
0:00:48	はい。
0:00:50	今日
0:00:51	ヒアリングの資料の説明に入りたいと思います。
0:00:55	前回のヒアリングからですね修正したところを中心に説明したいと思います。
0:01:02	まず3ページ目お願ひいたします。
0:01:15	ところの
0:01:17	コメントリストのところですがコメント概要の記載のところ、
0:01:22	4番5番。
0:01:25	これ
0:01:26	既往の地震動評価への影響のところですがまず4番のコメント概要のところ、
0:01:32	この記載についてはもともと、
0:01:36	E G F で評価した
0:01:39	結果の妥当性を確認するため、そういう趣旨の、
0:01:42	記載に、もともとそういう主旨が、検討目的があるんで、そういうことがわかるような記載に、
0:01:50	修正して、
0:01:52	それから、
0:01:54	一番最後の文章で基準地震動 S s への変更の必要はないと前回影響がないことを確認した時になってましたけどもここは
0:02:04	先生の変更の必要はないという文章に、修正してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:10	それから5番目のこれは野呂森原に対しての検討ですが、この一番最後の文章のところで、変更必要ないというふうに、別所青島
0:02:24	それから6番目のコメントで振幅包絡線の設置のところですが、
0:02:31	ここは、
0:02:33	回答の趣旨として振幅包絡性を設定するという観点で、マグニチュードを保守的になるようにということで、
0:02:43	最初のポツのMについては、のところは最後の金曜日の文章ですけども、
0:02:50	ここ共振分の継続時間長めとなるようになるとしたというふうに、
0:02:54	対応集、
0:02:56	追記しています。
0:02:58	それからX e qについても継続時要となるようにという文言を追加いたしました。
0:03:04	それから次の4ページ目をお願いします。
0:03:09	7番目のコメントの最初のポツですが
0:03:14	本編に書いてあることを、会長概要にも、かいうことでここは、
0:03:21	敷地の収集する観点としては、敷地周辺敷地及び敷地周辺のテクトニクス環境から発生したものを選ぶ。
0:03:31	あと地震基盤相当面内での母屋に作成するものとして適切なもの選ぶという、そういう、
0:03:39	記載に修正してございます。
0:03:43	それから、
0:03:44	8番目のコメントですが、
0:03:48	この二つ目の二つ、一番下の福土の手法でやる、検討してそれで最終的に乱数で採用するということですね。
0:03:56	ここのところ
0:03:58	以前は
0:04:00	L A N水素を代表するというような部門だったんですがそこは、
0:04:04	檀、この一番最後の文章ですけど断水増を、
0:04:08	を設定するという
0:04:10	表現の修正を行ってございます。
0:04:14	それから、
0:04:15	5ページ目の目次のところをお願いいたします。
0:04:20	ここはいくつか追加した、いたしましたのでそこをご説明するとまず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:25	一章として S s の策定と地盤モデルの関係ということで、
0:04:31	今回
0:04:32	楠本複数ある地盤モデルを最終的にどう整理するかというところの、
0:04:37	こと、議論するにあたって既往の評価の中で、
0:04:42	S s とそれから地盤モデルの関係がどうなってるのかというところを、
0:04:46	示した賞を新しく設けました
0:04:51	それから、補足説明資料のところ、
0:04:54	地盤モデルの設定、この3章ですね3章のところはエッセンスを本章残して、本編残して、それ以外のところはそこに回すということで、
0:05:06	この②番の基本の物理探査結果の関係のところとあと③番の、
0:05:12	減衰定数地形に関するところこちらの補足に、
0:05:17	どうかという、こうなってます。
0:05:22	それでは中身の方ですけれども、まず6ページ目、お願いします。
0:05:28	この新しく追加した、1章で、あと、
0:05:31	特定してとそれから特定せずの、S s 策定の中で、地盤モデルがどういうふうに関係してくるかというところを整理したもので地盤モデル
0:05:43	が関係するところはこのピークの
0:05:46	テキストボックスで書いてございます。
0:05:50	特定市の方であれば、E G F の妥当性の確認のために、S G F であるところのモデルと、それから特定せずについては、留萌の検討とそれから今回の標準測定器というところで、
0:06:02	地盤モデルを使うというそういうところを整理したものです。
0:06:07	5月の7ページでお願いいたします。
0:06:10	古閑。
0:06:11	は既許可の地盤モデルはもともと複数、複数でいいですか二つありますので、これ一つは統計的グリーン関数法の評価に使っているものとそれから、
0:06:23	留萌 O の
0:06:26	モデルと、この二つあったのでそれぞれ、
0:06:29	その評価の目的と、それから下段の方ではそれぞれのモデルの設定の
0:06:35	お考え方を整理して、まとめたものでございます。
0:06:42	それで、8ページ目、
0:06:45	以降はですねここは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:48	特に変わってございます。それで、99 ページ目ちょっとお願いします。ここから 3 章で地盤モデルになります。基本的には S D だけを残す形で、
0:06:58	先ほど申し上げましたように、用の物理探査との関係の
0:07:04	時の物理探査でいいますと 3 次元地盤モデル作るところの仮定の話とか、あと減衰定数の知見の整理のところは、
0:07:12	補足説明資料の方に残す、移動させたということでございます。
0:07:16	詳細はちょっと割愛いたします。
0:07:22	それで政治が飛びますが、
0:07:25	30 ページをお願いいたします。
0:07:31	んところ 4 市長の村野作成の方針ということでここ
0:07:36	文言の修正だけになります。最初の
0:07:40	ポツが三つほどありますが三つ目のポツの、
0:07:46	最初、語尾ですね文章の終わりのところで移送、前回は代表するというものを選ぶということを設定するという形です。
0:07:57	それから、
0:07:58	千野浅野君、3 骨格矢印の先のテキストボックスも埋葬代表者になったのを、愛称を設定するという状況に直しています。
0:08:09	それから 31 ページをお願いします
0:08:13	これ断水層の寸法落選設定のところ、マグニチュードの設定と、
0:08:20	区域の設定これ先ほどコメント概要のところにも、
0:08:24	ご説明しましたが、口の設定であれば、文書の
0:08:29	終わりの方ですね、文字は特に聴診分の継続時間が斜めになるという趣旨を追加しているという中の、
0:08:39	継続時間が何年となるようという文言を追加してくれる。
0:08:45	それから、
0:08:47	ちょっとまだページが飛びますが、
0:08:52	42 ページをお願いいたします。
0:08:58	ここは
0:09:00	観測位相の検討にあたって記録を収集するところで、
0:09:06	42 ページの
0:09:08	グラフですねここはどういうものを収集したものなのかというところがちょっとわかりにくいというご指摘がありましたので、この凡例のところに、
0:09:18	監査、11 日の救急記録、これ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:21	40 ページのところと同じじゅ、十時 49 キロがありますがそれを、
0:09:27	を数えられたものということですというのがわかるように、判例と、
0:09:32	それからグラフのタイトルにその旨、地域してございます。
0:09:38	それから 43 ページは、
0:09:41	ここはページ自体を追加したところろうで、
0:09:46	前回の時はですね 42 ページの
0:09:50	記録の重ね書きから、すぐに佐藤。
0:09:54	2010 期を使いますというふうな説明になって、その間の、
0:09:59	説明がなくてちょっとわかりにくいというか、繋がりがちょっとわかりにくいというご指摘があって確かにご質問の通りだと思いましたので、
0:10:09	43 ページに 1 枚追加して、
0:10:13	これ
0:10:15	先ほど、
0:10:16	42 ページで収集した記録の中から、より規模が大きいものを、これは 76 条ですけどそれから、
0:10:26	それにより観測点に近い記録というものを、
0:10:30	選ぶと。
0:10:31	結果として、
0:10:34	この表の赤字で書いてあります、②番の地震、これ高平の記録、
0:10:40	それから⑩番の地震では、縦横の地震。
0:10:44	この二つが選ばれるということで、
0:10:48	その中から、
0:10:51	2 番の茨城県北部については、佐藤ほかで、
0:10:55	基盤が推定されているのでそれを使いますという、
0:11:00	わかりました。
0:11:03	それから、
0:11:07	こっちの修正てまた、ページが飛びますが、
0:11:12	52 ページをお願いいたします。
0:11:16	ここ
0:11:18	L A N 水槽時数観測位相の位相を比較して、
0:11:23	比較するパートになりますが、
0:11:27	前回の時にはこの比較項目の中にフーリエスペクトル、
0:11:32	もを入れてございましたが、その後

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:36	前回のヒアリングを踏まえて、考えてみると、いえ、Aの検討というのは、
0:11:42	振幅は確かに大きくなるんですけども、ちょっと継続時間の関係で、長くなるということでもともと成分はの大小を見たかったんですがちょっとそれが、
0:11:52	プールとなかなかそれが継続時間、影響してくるので、そういう
0:11:58	成分としての大小が必ずしも言いにくいことがあるので、
0:12:03	今回のこの項目からは、売りは削除するというふうにならしている。
0:12:12	それからちょっと細かいですが時刻歴は無茶苦茶決まってるところにあるちょ町深部のというところ。
0:12:18	文言として付け加えて、
0:12:23	それから次の修正点は、
0:12:26	5、57 ページを、
0:12:28	お願いします。
0:12:32	この比較検討の結果というところですが、
0:12:37	前はフーリエスペクトルの振幅の来場も含めて、
0:12:42	選ん水素を、を使うということを書いてございましたが、
0:12:48	あくまでも、時刻歴八景。
0:12:50	の継続時間、
0:12:53	これ共振の継続時間の関係から、
0:12:57	甘えると、OWTFと丹羽さんが出ていないけれども、
0:13:01	時刻歴は形では、断層の共振の継続がないので、7対1を選定すると、 こういう
0:13:09	結果に修正してございます。
0:13:13	それから次の58ページを、
0:13:16	フーリエは、結論には小喜多検討には使いませんが、
0:13:22	情報として参考的な情報としてはあってもいいのかなと思いましたが、 参考として、
0:13:30	58ページに図を掲載している。
0:13:36	それから、
0:13:38	60ページをお願いいたします。
0:13:42	これは
0:13:44	この前のページの59ページで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:47	短周期が残っているところをですね、もう少し拡大して、わかりやすくするということで、60 ページこれ線形軸加速度。
0:13:58	のを、より 5000 建築にして、
0:14:01	それで超えているところを拡大して、特に黒い三角で示した先が、
0:14:09	なぜ実のデイワンを超えているところに、
0:14:14	上下はちょっと近づいているところがありますが超えておりませんので、残りの 3 国は示していないということで、
0:14:25	とそれから、
0:14:28	66 ページ本編は以上ですが参考、補足説明資料を、
0:14:34	ことで、66 ページになりますが、先ほど、
0:14:39	目次のところでもご説明しましたが②番③番はこれ地盤モデルに関する検討の資料ですがこれは、
0:14:48	もともと本編やったものを、補足説明資料の方に、
0:14:53	移して、
0:14:54	詳細はちょっと割愛します。
0:14:58	それで④番というところ
0:15:02	と修正したところがありますので、ここはご説明したいというふうに今のページは、
0:15:07	88 ページをお願いいたします。
0:15:12	ここは
0:15:15	断層モデル。
0:15:17	による S s 妥当性確認のを、
0:15:21	箇所になりますが、前回のヒアリングでは、地盤モデルとしてはですね、この留萌よう地盤モデルも含めた、
0:15:29	三つの地盤モデルを載せてございましたが、S S、E G F で評価した結果の妥当性ということであれば、
0:15:40	そこまでここで載せるのは、S G F を地盤モデル、
0:15:44	の結果、
0:15:46	頭だけ比較する方が検討としての
0:15:49	意味合いがよりわかりやすくなる場合も地盤モデルがあると
0:15:53	その位置付けがちょっとわかりにくい、わからなくなるというふうにちょっと考え、思いましたので、ここはどういう地盤モデルの
0:16:03	情報は削除した形にしております。
0:16:08	それで、次の 89 ページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:13	ここの結果のところになります、図の中からは、
0:16:18	無料地盤モデルの結果を削除して、
0:16:23	あくまで氏家教授分までと評定を通すという地盤モデルの比較とそれから、
0:16:28	それと医療費が比較したという形。
0:16:32	それで
0:16:34	テキストボックスのところもコアの概要な
0:16:39	申しあげました通り、
0:16:40	原子力の変更の必要はないという修文をしてございます。
0:16:46	同様の修正は 90 ページ以降、同じ修正をしていますが詳細は割愛いたします。
0:16:56	それから、
0:17:00	両括弧 2 番のルーム弁当のところもここは
0:17:03	101 ページをちょっとお願いいたし
0:17:07	ちょっとここも文言だけの修正ですが、二つ目のポツの最後のところの、説明の必要はないぞ。
0:17:16	いう、
0:17:18	文章に修正してございます。
0:17:21	以上が資料 1 でございますが、続いて資料の 2 番を、
0:17:26	ご説明したいと思います。
0:17:32	ちょっと画面、
0:17:35	説明入りたいと思いますが、
0:17:38	この資料の 2 番は今、現状複数、地盤モデルがあるということについて、
0:17:45	どう、今後使っていくかというところを整理したのになります。
0:17:51	それで
0:17:52	実際のな中身が申請書にどう書くかというところに、踏み込んでるところもあるので、
0:18:00	ちょっと資料 1 には参りにくいかなと思いましたが、
0:18:04	別立ての資料 2 として、別途用意したものでございます。
0:18:10	この 2 ページ目の大事な紙ですが、最初の黒四角は、
0:18:15	今、地盤モデル、三つあるというところについて、
0:18:19	今後、1 の通り整理しますということで、
0:18:23	具体的にはこのポツが

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:27	6 のこと書いてある通りでございます。
0:18:29	まず今回、作った評定とスペクトル用の地盤モデルというのは、
0:18:35	私のボーリングデータですとかその起きろん、そういったもの。
0:18:40	精査して、新しい知見や考え方を、を取り入れた
0:18:46	過程で作ったんです。
0:18:50	これになりまして二つ目のポツの統計的グリーン関数法、今まで、
0:18:55	使ってた地盤モデルについては、
0:18:58	やはり
0:18:59	地震基盤相当に深いところの速度構造、組み直して、
0:19:04	昨日の
0:19:06	物理探査結果との整合性がより、
0:19:08	向上しているものになってますので、
0:19:12	統計的グリーン関数のモデルについては、
0:19:15	今回の標準を取ってきてると。
0:19:17	地盤モデルに、更新、取得形で考えています。
0:19:23	そういう申請書では、地震動評価に用いる地盤モデルとして、
0:19:29	記載するというふうに考え、
0:19:33	次のポツは、
0:19:36	S s - N の評価ということで、
0:19:39	これ補足説明資料の方でもご説明しましたが、
0:19:43	その特定しての話、E G F で評価してますので、
0:19:48	あと改めて今回、今回の標準応答スペクトルで S D 評価しても、E G F の妥当性は、
0:19:55	改めて確認できましたので、S s そのものを変更する必要ないという、
0:20:01	考えています。
0:20:03	それから、
0:20:04	土門様のモデルについては、
0:20:08	これはもともと拭いの検討というのは、
0:20:14	敷地の地盤。
0:20:16	の物性の違いを考慮するために、作った。
0:20:20	モデルで、
0:20:22	新規断層と宮里小の情報で、夏になる。
0:20:27	1 年、そういう意味で評価が浅いところだけ必要になるような元的なモデルになって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:33	それでこれも補足説明資料の方でご説明しましたように、
0:20:38	この運営委員さんの消化を、仮に賞状とスペクトルで、表の地盤モデルで、
0:20:44	教科書としても結果はほとんど変わらないというのを確認してるので、
0:20:48	そういうサービスを変更する人はないということで考えてますが、
0:20:53	ただ申請書の記載はですね、このS s スパン率の
0:20:58	計算条件に関する情報になりますので、
0:21:02	そういう情報としてこのモデルについて申請書上は記載するということ で今、
0:21:08	考えてございます。
0:21:11	説明は以上になります。
0:21:17	はい、ありがとうございます。そうしましたら規制庁側から何か確認事項等あれば個別にお願いします。
0:21:25	すいません原子力規制庁の三井ですけども最後の地盤モデルの
0:21:31	お話でちょっと確認したいんですけども、
0:21:34	今出していただきたいやつですね、
0:21:38	要するに既許可の、特定して使って、特定しての方で妥当性確認で使って受る地盤モデルがその真ん中にあるやつで、
0:21:47	特定せずのほうのS s 31 で評価する用の地盤モデルが、
0:21:53	右側のモデルですと、
0:21:54	今回新たに新しいデータを用いて作成したものが、
0:21:59	一番左の標準応答スペクトル用の地盤モデルですということ、
0:22:06	その上の説明では、要するに特定しても特定せずも、
0:22:12	新しいそのモデルでやっても、
0:22:16	結果がほぼほぼ同じですと。
0:22:19	ということで特定してと特定せず、ほぼ同じという結果が同じであるにもかかわらず、
0:22:25	特定しての方は、地盤モデルを更新しますとしていて、
0:22:31	留萌の方は、元に、元のままにしますっていうロジックがよくわからないんですけども、何でそれ統合しちゃいけないのかっていうのがわからないんですけど。
0:22:42	その回答をお願いします。
0:22:47	はい切ります
0:22:50	東郷、定説の方を東郷。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:56	するということ。
0:22:58	という、あると思うんす。
0:23:00	なぜ特定せずだけ別なのかというところですが、
0:23:04	我々としては、今回の評定とスペクトルモデルで評価して、
0:23:09	特に部門様の方は、S A 31 人、
0:23:14	与える影響がほとんどないということで、それを確認しているということ です。
0:23:19	それで、
0:23:20	仮にこの
0:23:24	統合するってなるとちょっと S S 31。
0:23:29	この教授応答スペクトルモデルで評価したような形になってしまうところ ありますので、そこは平成 31 は、我々としてはこの
0:23:40	変更する必要がないということで考えていますので、
0:23:43	そこらの統合という形ではなくて、
0:23:49	差別化使っちゃう情報として、ちょっと留萌の波を、
0:23:53	なぜ残すということで、そこの扱いを分けていると。
0:23:58	いうところでございます。
0:24:29	もうちょっとモデルってやるんだよね。
0:24:35	だけど、ちなみに記載だけ残す。
0:24:40	すいません佐藤ですけど、聞こえますか。
0:24:43	はい。秋野さん。
0:24:45	えっとね。
0:24:46	モデルの考え方なんですけども、
0:24:49	1 枚紙の方で、今、三井からコメントあったようにですね、我々のちょ っと確認したい点は、統計的グリーン関数法に使ってるこの S G F もい わゆる S G F モデルはこれはもう葬り去るということになるんだろうけ ども、
0:25:07	一方ですね、
0:25:08	このポチ、6 個あって下から 2 番目で、
0:25:12	この留萌を地盤モデルと、標準応答スペクトルの地盤モデルっていうの は、これ震度計算するとほぼ同じですって書いてるわけですよ。
0:25:22	そうするとね、
0:25:23	標準応答スペクトルを地盤モデルっていうの一つで済むような話になら ないですか、結論としては。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:31	だけど多分皆さんこれねそうしちゃうと、
0:25:35	もう地震地盤モデル作ったこのS S 31が、
0:25:40	これちょっと影響するのでそこは変えたくないのこの留萌を地盤モデルそのものについては残したいという、多分こういう趣旨なんだと思うんだけど、違いますか、ちょっと確認だけさせてください。
0:25:51	はい。趣旨は今、
0:25:53	佐藤さんがおっしゃった通りの趣旨でございます。そうですね。だから本当はこれ、標準応答スペクトルを地盤モデルで多分一本化できるはずなんだよねモデルとしてはね。
0:26:06	そうですね。技術的にはもう評定とスペクトルルームは評価するときには、この評定とセットでもできるモデルになっている。
0:26:16	まず、そうだねじゃその辺がちょっと前から審査会合論点になるんですかね多分ね。
0:26:22	あとちょっとマイナーな話で申し訳ないですけども各所にですね、
0:26:27	いわゆる
0:26:29	複数の家ⅠⅠということで実管記録とそれから、
0:26:33	一応乱数のやつでやった結果を、最終的には乱数位相を用いる方法で設定するって各社出てくるんだけど、
0:26:44	例えばね、4ページ一番、
0:26:46	下、4ページのは、コメントNo.8の、
0:26:50	回答概要の一番下の行なんですけども、これ同じフレーズ各所に出てくるので後で直して欲しいんですけど、
0:26:57	断水槽を設定することとしているって書いてるんだけど、
0:27:02	多分設定することってというのはちょっと日本語としておかしくて、
0:27:06	多分選定することにしたっていうのが多分正しいのかなと。
0:27:12	うん。
0:27:13	多分選定するのは二つ比べて、どちらか選びますかって言った時に断水槽を選びましたっていうんじゃないかな。
0:27:23	そうですね。
0:27:25	確かにそうな何かちょっと二つあってどちら選びますかっつっていやこっち選びます設定するっていうのが多分素直な形言い方だと思うんだけど。
0:27:36	すいませんこれワーディングの話だけで申し訳ないです。
0:27:39	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:40	フードコミュニティシーンを作る段階の話で書いてるんだったら多分設定するって言葉があってるんだけど、もう文字自身は作って、解放基盤の地震はを評価した後での話なので、
0:27:52	この段階で設定するっていうのはその対ステージと言葉を合わないと思います。
0:27:59	確かに、今、長井さん。
0:28:02	磯おっしゃること、
0:28:04	その他、その通りだと、
0:28:06	このステージではやはり選定するの方が、
0:28:11	いいかなと思いましたがちょっとここは選定するにちょっと修正したいと。
0:28:16	はい。あと、これ、黄色のハッチング所々ありますけどこれは本番の審査会合のときの資料では
0:28:23	後マーキングは外していただくっっちゃうことでいいですかね。
0:28:28	はい。黄色のところ黄色の何かマーキングは入ってるんだけど今日はわかりやすさの観点から聞いていただいたんだと思ってるんですけども。
0:28:38	そういう理解ではですね。
0:28:40	下階後の時にもこれも 12 月です。
0:28:45	これはタイミングを資料でも残す、残すような考え方そうですか。はい、わかりました。
0:29:00	すいません長井ですけどまず若干、つまらないとかさっき言いますね。ちょっと、なんせかはちょっと手遅れだったんで言ってなく、なかったんでその修正をされてないんですけども。
0:29:13	一つは 34 ページでもう 1 ヶ所が、
0:29:19	48 ページなので、こちらですね真ん中の応答スペクトル比の最低値。
0:29:24	これ値を実際記載していただけますでしょうか。
0:29:31	34 ページ
0:29:34	再提示して、
0:29:37	と、今資料上は記載しておりませんのであとは当然ありますので、
0:29:42	そこは記載するように、
0:29:45	斎藤理事。
0:29:46	はい。まずその点をお願いします。で、先ほどの最初の三井佐藤の話に若干戻ってしまうところもあるんですけども、ちょっと前の資料オフ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:58	も含めてですね再度確認したところなんですけど、101ページのスペクトル図。
0:30:10	はい。最初の会合の資料までさかのぼって私ももう1回確認を取ったんですけども、
0:30:17	確かにですね延長孔口は完全に包絡されてるような印象前の資料1受けるんですけども、
0:30:24	水平方向ちょっと一部の周期は実はこの標準応答スペクトルのモデルでやったほうが上回ってませんかと思うんですけども。
0:30:32	介護ができますと拡大図を出してもらいたいんですが、
0:30:36	今見る限りで超えてるなと思うのが、0.1秒から3秒ぐらいのところ、
0:30:44	と、あと2秒前後。
0:30:47	これ、標準応答スペクトルでもども他求めたものが、
0:30:51	一番ちゃん大きい値を伝えてませんか。
0:30:56	ちょっと変わって、この図だと見づらいんですけど、
0:31:00	ここは周期体によってはちょっと所々超えてるところはございます今、長井さんがおっしゃってる周期体のところは、ほぼわずかではありますけれども、平成31をちょっと超えているところがございます。
0:31:17	それも踏まえると最初の話に戻っちゃうんですけど、
0:31:21	の思いをもらえるを残すという理屈がここでも若干靴で書けるんですけども、そこはどう今お考えですか。
0:31:31	ここの点につきましては、
0:31:35	家、今回の結果が、ほぼ
0:31:38	地盤モデルの影響は、
0:31:41	解析の結果としてはほぼ同等だということで、
0:31:47	そこで改めて特に変える必要ないというふうに考えています
0:31:52	この結果と、この笹というのは
0:31:56	減衰定数の違いというところですが
0:32:01	周波数のもともと許可の時に周波数依存で考慮していたところ、
0:32:07	と今回の周波数依存、下水管が今回考慮していますが周波数依存のところ、
0:32:13	が、
0:32:15	もともとのデータのベースが、ちょっとデータ性が変わってますのでその影響で変わってますが、ここは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:25	改めてケイ素そうになったというよりもデータの設定の違いが多少、どうしてもそういう違いが出てくるところがあるかと思しますので、それ、その差がこの程度、
0:32:35	出てたっていうところではあります。なので、
0:32:40	基本的に前回の進めた結果と今回の結果で、
0:32:45	特に有意な何か差が出てるとまたちょっと
0:32:49	考えにくいところがあってそこで、
0:32:53	評価結果としては、従来のもと同様などで、
0:33:00	従来生産率を見直す必要がないということで今、
0:33:05	考えているところでございます。
0:33:10	はい、長井です確認、5間お考えを確認させていただきましたで、一応拡大図同じちょっと会合までにですねその大小関係がわかるような図を何ヶ所かちょっとピックアップして作っていただくことは可能ですか。
0:33:25	そうしましたら、あと隠れたようにしたいと思います。
0:33:32	規制庁の方ですけどちょっと今のところでですね私も素朴な疑問があるので教えて欲しいんですけども、まず本体の100ページのところでですね、標準応答スペクトルよう地盤モデルのV sが、
0:33:43	938 になってるんですが、これは、
0:33:47	正しいんですか。
0:33:48	947 人入れてるんですか。
0:33:53	このところはですねちょっと
0:33:55	他にわかりにくいところではあるんですが
0:34:00	99 ページをちょっと1 をご覧いただいてですね
0:34:07	備考欄の二つ目のところにですね、
0:34:13	その辺の考え方を書いてあるところ。
0:34:17	そうなんですが、
0:34:19	もともと酷い地盤モデルの件。
0:34:23	等々ときも、
0:34:24	今、99 ページのレモン地盤モデルで、
0:34:28	基盤地震動推定位置のV s は938 というふうに、
0:34:33	なってますが、これ入力する時は938 という値を使っております。
0:34:40	ただ
0:34:41	もともと、
0:34:43	この層を作る。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:45	この層を、
0:34:47	今日高依存式で漏えいの時は作っていてその時には
0:34:53	層厚の中心部分で、
0:34:55	の値を、を評価した。
0:34:58	結果られたものを、S R S V S の値というふうに、
0:35:03	していたんですよ。
0:35:05	それがですね動い羽を入れるときには、
0:35:08	このちょうど、
0:35:10	その入力する層の上限位置での、
0:35:12	値、それ標高依存式がまた求めると、若干浅くなる場所があるってそれで938人なるんですけども、その938台使って、
0:35:24	入力していると。
0:35:26	いうところですよ。ちょっとこのあたり、ちょっとわかりにくいかもしれないってのは、当時の留萌のときも、そういうふうにはやっておりましたので、
0:35:35	今回標準応答スペクトル地盤モデルで、
0:35:37	留萌は入力するときも、同じ考え方を踏襲して、
0:35:42	ここはあえて938の値を使っていると。
0:35:46	いうやり方でございます。
0:35:49	すいません938を使うことは理解してるんですけどもそうするとね、いわゆる標準応答スペクトルの地盤モデルにはそれが出てこないんだけどもそれとの違いってというのは何か矛盾がしないんですかというのが、
0:36:01	質問なんですよ。
0:36:09	標準応答スペクトルの地盤モデル。
0:36:15	でもそれが出てこないという
0:36:19	と、938の総額、
0:36:22	で出てこないっていう、そういう、はいそうそういうことです。はい。
0:36:30	これはあくまでも938を出すためにアジャストをして、938のところに入れてるような、評価をしてるということだけですよ。
0:36:39	そ、一方で多分今度申請書に書いていただく標準応答スペクトルを地盤モデルにはその938の想定出てこないわけですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:48	そうですねそこで出てこないわけですね。なので、この評価をやって比較をすることの意味というのが、ちょっと正確に私は理解ができないんですけど。
0:37:02	等、
0:37:05	このところ
0:37:07	留萌の地盤モデルの時も、
0:37:13	一旦はV s 938ではなくて、
0:37:20	ちょっとその辺の経緯は知ってるんですけど結局部門用の地盤モデルってのは938を使ったものをセットしたんですって。
0:37:28	あごめんなさい、もうちょっと聞くとですよ、同じような話を聞いていくと結局申請書に載ってるのがどれだけよくわからなくてですね。
0:37:35	例えば、
0:37:41	留萌だとな。
0:37:42	ページでいくとですよ。71ページ。
0:38:01	これルーム云々の説明のところに出てくるモデルなんですけどもこれも結局947って出てくるじゃないですか。
0:38:08	はいで、留萌のモデルというのは結局のところその資料の2の、
0:38:14	方の938を設定したものが、ルームモデルになってるんじゃないんですか。
0:38:23	そうですね家計算のルームは入力する時にはこの資料の2のような形で計算に使うということで今、資料2の方では、
0:38:34	938の値、
0:38:37	のものを入れてます。
0:38:40	つまり、留萌のモデルってのこの938の、
0:38:43	宗があるモデルを留萌のモデルと言ってるんじゃないんですか。
0:38:49	麻生そうですね。
0:38:52	ちょっとそこのところの言い方。
0:38:54	ええ。
0:38:56	どうぞ。
0:38:58	確かにちょっとわかりにくいところが、
0:39:00	あるかなと思います。
0:39:02	一旦は先ほど申しあげましたように71ページ、947っていうその左側にあるモデルですよ。要は、もともとあった多分、
0:39:14	機器

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:15	なんていうか、地盤を設定したモデルから良いように、アジアとして作りました。一方、その統計的なグリーン関数法で使ってたやつはあまりそういうことをせずに、真ん中資料2の真ん中のモデルをそのまま使っていましたってことなわけですよ。
0:39:30	で、結果として残るのは、資料2の真ん中と右側が残ってるんですよ申請書に。
0:39:39	途中の過程を説明して、
0:39:42	こうですよという話で、0なのかバツなのかが私にはすいませんちょっとよく、説明のプロセスがわからないんで教えて欲しいんですよ。
0:39:59	運用地盤モデルって言った時に
0:40:01	947を、の状態でのモデルをいうか、その計算用にアジャストした。
0:40:09	資料2の方の、938の方のモデルをどっちを、留萌をモデルとするのかという、そういう、
0:40:18	ご質問、
0:40:20	という。はい。で、ちょっと100ページに戻っていただくと、留萌のモデルは留萌のモデルでもともとねその938に入れてただけけれども、
0:40:29	例えばこれを標準応答スペクトルで今回その統一したモデルに入れるとすると、これまた938の層を作らないといけないのか、947に入れて評価すればいいのかというところが私にはちょっとよくわからなくてです。
0:40:44	だからモデルをそもそもね、938の層がなければ留萌が評価できないんだっただけのおのずと留萌のモデルって残るんだと思うんですよ。
0:40:54	そこの説明が、すいませんちょっとクリアに私には理解ができないのでそこを説明して欲しいんですけど。
0:41:04	キョウジョウとSPECT利用モデル。
0:41:07	を使って
0:41:10	この後井原を評価しようとする、やはり地震基盤相当という浅いところの速度構造堀尾モデルも、標準応答スペクトルモデルも同じですので、
0:41:24	ちょっと先ほど、繰り返します表情とスペクトルモデル、地盤モデルで、リボンはの検討をしようとする。
0:41:31	この99ページにあるように、家その動いようにアジャストした形の、938の総合をも設けてですね、その上で、
0:41:45	留萌はの評価を行うというプロセスになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:54	すいませんちょっとそこがよくわからなくてですね、モデルを一つにするというかですねもともとあったその施設 31 と比較をしましょうといったときに、⑤飯野モデルで計算しましたということと、
0:42:06	例えば標準応答スペクトルで今回新たに設定した 947 のところに入れてしまっかね持ち上げて評価をして、それとの比較をした上で最後の S s 参事イヤーとして申し上げてるわけではないですか。
0:42:20	なので、その関係からどういうことがいえるのかというのが、まずは知りたかったんですが、これ 938 を設定しなければできませんということになればですよ。
0:42:30	留萌用のモデルってのはもう残るしかないですよ、減衰定数が若干違うんだけれども、そこを説明は必要なのかもしれませんが、
0:42:39	一つにはできないっていうそういう理解なんですかね。
0:42:44	そうですね。
0:42:50	ええ。
0:42:51	藤。
0:42:54	確かに
0:42:56	教授落とすべつとりをモデル。
0:43:00	は、ものでモデルとしては
0:43:03	903、947 のベースの値が標準応答スペクトルモデルという形であるので、
0:43:11	私
0:43:12	動いをモデルの検討する時には、どうしてもこの
0:43:16	99 ページの左側にあるような、938 の層、
0:43:21	計算用にアジャストしたものとして、
0:43:25	存在しないと、計算できませんので、
0:43:29	そういう意味でいくと、
0:43:30	留萌モデルというのは、確かにこういう 99 ページみたいな、こういう形で、
0:43:38	計算する使ってますので、それは、
0:43:42	それはやはり残す必要があるかなと思います。
0:43:48	ちょっとつまり上手くちょっと回答できるかどうかというのは、
0:43:50	ありますが、長いですけど多分言葉がよろしくないかなと思って今聞いていて、9 サグチはアジャストするではなくて、まず一つの考え方のスタンスとして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:00	そもそもこの留萌の基盤地震動というのは、V s 938 で作ってるものなので、
0:44:06	違う速度に入れるということはそもそもは形が変わるはずだということで、
0:44:11	どこかに旧さんあてを仮設定してそれより浅いところに伝播させるというのが一つ。
0:44:16	考え方のスタンス、これは別に土肥をモデルだと表示を落とすピック評定とスペクトルモデルであっても、ここで99ページ示されるようなやり方をすれば何も問題はない。
0:44:28	ので、
0:44:29	そういうスタンスで例えば、
0:44:31	土肥をモデルを残す理由は、そもそもなくなってしまう。
0:44:35	もう一つのスタンスとしては、永久ザーッと観測孔標準を落とすという機械考え方ですけど、
0:44:41	旧3月で作ったものが形ではあるけども、
0:44:46	地震基盤相当面的な考え方で938メートルパーセク以上のところであればすべて同じ派遣になると。
0:44:53	いうふうに考えて重要なのよ。
0:44:55	ところにあるは形だと思って。
0:44:58	今の標準応答スペクトルをモデルに入れるという考えで二つスタンスあると思うんですね考え方によって、
0:45:03	これどちらをとられるかなと思う。アジャストではないと思うんですよ。まずは、それ技術論だって、
0:45:10	どっちのスタンスで、基盤は基盤部門の基盤地震動を使うかということだと思っんですけどね。
0:45:16	そのあたりはいかがですか。
0:45:23	と、
0:45:26	うん。現地
0:45:30	S A S 3D、
0:45:33	記載としてこそ
0:45:40	あ、
0:45:41	現世のカワサトです。
0:45:45	今長井さんがおっしゃったですね、二つございますけれども、我々が前者だと思ってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:52	やっぱり 938 人入れるということが、今回でも良いの評価をする上では重要なんです、
0:45:58	それで、標準応答スペクトルモデルの向後 Q38 に入れてですね。
0:46:04	それで違いを見た。
0:46:06	いうところが今回の考え方だと思います。
0:46:12	それですので、
0:46:13	運用モデルというのはなくともいいです。
0:46:17	教授、今後ですね。
0:46:20	震源特定せずも評価する場合には、
0:46:24	標準応答スペクトルに一本化しようというふうに考え、
0:46:30	ただし、
0:46:31	この S S 31 を、
0:46:35	申請書に記載する上で、便宜上ですね。
0:46:39	この留萌をモデルというのを、どういった方法で、
0:46:43	留萌を作ったかという、そういうことがトレースできるように、記載は残したいというのが我々の思いなんですけども、
0:46:52	それが
0:46:55	そういう御説明では、
0:46:57	理解できないでしょうか。
0:47:00	はい。
0:47:08	ですけども、あと、多分これ以上話すると会合またあるので、今のお考えをですね介護で説明していただければと思うんですがそれでまだよろしいでしょうか。
0:47:20	拝承しました。
0:47:22	あともう 1 点ですねちょっと、
0:47:24	幾つも重なってる図がしかないんで、念のため確認をするんですけども、
0:47:30	基準地震動 S s 31 というのは、
0:47:35	多分 61 ページしかないのかなベストベストの図で 61 ページの図によれば、
0:47:40	S s 3 火が基準地震動になった理由ってというのは水平方向の、
0:47:46	0.4 秒から 5 秒で S s - D 湾を上回るかなということによろしいですかね。
0:47:53	他の周期って上回ってはいないんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:00	とイクタマですが
0:48:02	ズームインの 31 位が上回ったら、
0:48:06	この 0.4 秒のところですねここで超えてるから。でございます。他は、 S Dに
0:48:14	カバーされているという状況です。
0:48:20	わかりました。事実確認させていただきました。
0:48:30	当原子力規制庁の浦さんの資料 2-1 の表の三つの選ぶ方でちょっと言葉の方がちょっとわかりにくいですが文章の方が読むと全然問題ないですが、
0:48:43	右の方ですね 2 番目の赤点線の方が、
0:48:48	ルーム破棄基盤地震動推定位置いうところの、
0:48:52	この基盤が水位、ここの深さで推定された。
0:48:56	ですね、本当は相当ですね何かもっといい日本語があると思います。
0:49:02	これ国会が、
0:49:04	何で可能性あるからさ。
0:49:07	そう。ソウゾウイ自動元の意味で、
0:49:10	あとはつまんないことなんか、コメント熱がノセがなってない。同じ色 を点線にして、その違うか置き場目の県議と、
0:49:20	地震基盤の定義等、
0:49:22	リウム創造面の定義に違うですから、同じ移動線作ると。
0:49:28	何かパッと見ると、何か違うじゃないかとそう、逆に何か違和感あります。
0:49:33	うん。例えば色が変わってみそも三つの違う定義で違う色、表現したん は、わかりやすいと思います。
0:49:41	以上で本日はないですか。
0:49:45	はい。
0:49:45	はい。現在できてます
0:49:49	あの、留萌はの基盤地震動推定値っていうと港町の観測というのはその の、
0:49:56	推定したそのものの岩盤というふうにちょっと読めてしまうところがある ので、ここは
0:50:00	今おっしゃったように本編本部の方では、この基盤に相当する、そうそ うだというふうに書いてあるのでそういうことがわかるような、
0:50:11	表現をこの図の方の凡例判例注書き、図の記載にも同じような記載に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:17	したいと思いますあと色も確か同じ赤を使っているのでもっと色が変わるなりして、ちょっとそこは、
0:50:25	誤解されないようにちょっと修正。
0:50:29	したいと思います。
0:51:58	すいません規制庁の湯田ですけれども1点だけ確認ですが、今回、大体お考えはわかったんですが、
0:52:06	新しいモデルです。ね標準応答スペクトルのモデルの947のところ、留萌を入れて計算したことはありますか。
0:52:17	そその計算は今までちょっとやったこやっていないです。
0:52:22	わかりました。はい、事実関係としてお願いします。
0:52:30	あ、すいません長井です。あと1点ちょっと違うところもうちょっと説明の補足をしていただければなというところがあるんですけどもよろしいですかね。
0:52:39	はい。
0:52:40	資料で言うと45ページになるんですけども、
0:52:48	この高井の観測点の実際観測点がある位置左の地盤モデルというところの字を路地Bと小椋に、
0:52:57	1ってなってるんですけどこれは港湾の、もうちょっと詳しい説明できませんかね。
0:53:04	例えば、岩相年代に相当するな二相に相当するとかそういう話とかできませんか
0:53:15	と
0:53:16	佐藤さんの論文。
0:53:18	にどこまで書いてあるかってのはちょっと確認してみますが、それとは別に、
0:53:26	何か
0:53:28	何らかの文献か何かで、この辺の、
0:53:32	岩盤、
0:53:33	の情報、地質的な情報について、
0:53:37	て記載するというのはちょっと、調べてみて何か書けそうなものがあれば書くということは可能かなと思います。
0:53:45	改めて新しい資料作る必要は私はないと思ってるんですけども、例えば周辺で使った、
0:53:51	資料も持ってくるなりして、この辺りの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:55	地層が二相D、花崗岩相当するとかっていうのがあるとちょっと助かるかなと思っているんですけども。はい。
0:54:05	こないだあれですかね確か株、昔の下部地殻が上がっているのが結構古い岩盤なんですよ、確かね。
0:54:14	確かそうそうだったと思います。はい。
0:54:19	その古井がどれくらいかっていう情報があると。
0:54:23	より良いかなと思ってますのでちょっとその辺を、
0:54:28	簡単に確認していただいて、可能だったら括弧の周辺の資料を1枚どこかに、
0:54:34	地質図ことが適当なものを入れていただければと思うんですけども、対応をお願いしますか。
0:54:39	はい。そうしましたらちょっと地質の資料を確認して、ちょっと、
0:54:43	対応したいと思います。
0:56:03	ほかに何かうちからありますか。
0:56:08	ないんですか。
0:56:15	はい。そうしたらですね資料は例えば101ページのところのその重ね合わせの図ですよ。この辺は超えてそんなところは少し拡大図をつけていただく必要があらうかと思ひますし、
0:56:28	場合によってはですよ、緑と、だけと比較して、これはちょっと同系色なんでわかりにくいんで色を変えるなりして、それをその比較をした上で、別紙でS31との比
0:56:41	を書くというパターンもあり得るかと思うんですけどちょっとこれ全体見にくいんです。微妙に同じぐらいなんで、特に鉛直の方はね、あんまり全部超えてるのがこの絵でも見えるので、水平の方ですかね。
0:56:54	少なくとも水平の方は少し工夫をしていただけますか。
0:57:00	はい、承知しました。ちょっと工夫したいと思います。
0:57:07	すいませんあと一つ、公共1枚紙で資料2っていうのを入れていただいたんだけどこれちょっと申請書との絡みもあって別紙にしましたっていうご説明だったんだけど、
0:57:17	やっぱりこれモデルの話っていうのはちょっと次の審査会合でも論点になる話なので、
0:57:23	これはちゃんと本編資料に入れていただいて、ちゃんと考え方を説明していただいた方がいいのではないかと思っているんで、本編資料の方に説明入れていただくようお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:35	文言はちょっと帰れない、修正するなりしていただいてもいいですけど、
0:57:41	わかりました。ちょっと資料1の方に入れる形で、ちょっと考えたいと思いますちょっとセイリガクの話になっちゃうのでも、はい。
0:57:50	よろしくお願いします。
0:57:52	何かそういう今和智するんだったら
0:57:56	全体のそのままに近いのと、あと、
0:57:59	何ページっていうのがベストなのかなあ。一部を、例えばですね、94ページとか98ページの後にまとめみたいな形で入れるというのも、
0:58:12	考えだと思う。参考だというか参考の前に、そこまでのまとめを入れるかということだと思うんですけど、そういうのと合わせて入れるというのが一案かと思いますのでご検討いただければと思います。
0:58:25	承知しました。多分入れる土佐補足説明資料④の中の、
0:58:31	そこに関連づける形で入れるのが一番座りが、
0:58:36	いいかなと思いますので、今、阿部さんのご指摘も踏まえてちょっと、
0:58:40	考えたいと思います。
0:58:41	すいません岩田ですけれども今補足説明資料ということで66ページに目次があるんですが、①②③は確かにおっしゃる通りこれ補足でいいんですけどね。
0:58:52	今回、④については、
0:58:54	補足ではなくてですねまさにこれ影響どうなんですかというところの確認なのでこれは多分補足じゃないんじゃないかと思うんですね。これ最後は、要はどの地盤モデル残りますかというのはもう許可の申請書に書いていただく話なので、
0:59:06	なので4番だけ抜き書きにしてもちょっと前半にもって残りは、別に説明していただく必要がないので後ろの方に補足としてつけていただくというのが何か、
0:59:15	資料との構成上はよろしいんじゃないかと思うんですが、いかがですか。
0:59:21	はい、承知しました今ご指摘あった、確かに④番はコメント回答に関するところで直接か関係するところで重要なところでもあるので、
0:59:31	ちょっと本編の方に、
0:59:33	移動させたいと思います。はい。よろしくお願いします。その上で資料の2をませ込んでいただくってことですかね。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:41	はい、そうです。
0:59:43	他にありますか。
0:59:49	日本原電の方から何か本日の
0:59:53	やりとりの中で確認しておきたいこととかありますか。
1:00:02	衛藤
1:00:05	こちらの方から特に確認、
1:00:08	する点はございません。はい。そうしましたらですねちょっとスケジュール等の話について三井さんの方から
1:00:20	すみません原子力規制庁三井ですけども
1:00:25	本日の資料の内容でちょっと資料の構成について修正をお願いしますけどもこの内容で審査会合を実施したいと考えています。
1:00:36	日付については6月の10日の金曜日の要するに来週の金曜日ですね。
1:00:43	の午後に1時半からの会合の日を、一つ目の議題として、
1:00:51	実施したいと考えておりますので、今のその資料の修正については、来週の月曜日までをお願いしたいんですけども、
1:01:03	どうでしょう。
1:01:08	所ちょっとノセ、確認しますし、少々お時間いただければと思います。
1:01:15	ちょっと調整について、資料の調整については事務局、事務方とちょっと調整していただいて、一応日程については6月10日で、
1:01:24	やりますということでお願いします。
1:01:31	あ、すみませんちょっと6月、
1:01:34	10日に間に合うかどうかちょっと1回ちょっと
1:01:37	次、確認しますので所長もお待ちくるお待ちいただければと思います。ちょっと申し訳ありません。
1:02:23	たびたびすみません三井ですけど、ちょっと検討していただいて最悪ちょっと間に合わないっていう話であれば、
1:02:30	今日ベースの資料でやってやってですね例えば今日の例えば何、今日してきたその資料の修正については、
1:02:40	当日の会合で指摘する形にして、次の会合までをお願いしますみたいな、そんなのでも構わないので、
1:02:48	とりあえずちょっと検討していた、6月10日にはちょっとこちら、こちらとしては実施したいので、
1:02:54	ちょっと介護日程を優先する形で、検討をお願いします。
1:03:05	はい現在のイクタマです。小東海林先生が多分、今回の資料で出す。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:10	というところがちょっと限定なことになるかなと思いますが、そうかということで、
1:03:16	承知いたしました。
1:03:19	の永井ですけど、少なくとも追加計算はいらくないです文言の整理と御社の考え方をちゃんと書いていただくようにしていただければいいと思いますので、
1:03:27	それほど、決めの問題は確かあるかもしれないんですけども、それほど時間はかかるものではないと思いますが、
1:03:34	いかがですか。
1:03:41	うん。
1:03:42	ちょっと、
1:03:44	拡大とかちょっとずつ、かなりちょっといろいろと社内の
1:03:49	QMS上の確認プロセスがちょっと今、かなり厳しくなってますねそこがあるんですがそれ以外の拡大図以外のところは拡大そのものは会合で指摘いただくとそれ以外の文言はなるべく、
1:04:04	修正する形で、
1:04:07	という形ですけども結局そうするとさっきの設定を前提にするとかその程度のところのワーディングを直していただいてこれベースというようなイメージなんですね。わかりました。先ほど三井から申し上げた通りできれば2、
1:04:22	0を優先させたいので、10日に間に合う範囲です、可能な範囲での修正をしていただいて出せ、出していただければと思いますので、よろしくをお願いします。
1:04:31	説明時間はどのぐらいかかりますか。
1:04:37	ちょっと12月の介護、
1:04:39	に変える分量が多いので、前、12月の20分だったんですがそれをちょっと上回る25分か30分とかそのぐらいで考えています。
1:04:49	はい、じゃあ、30分ぐらいということで、可能なら、なるべく短めということでお願いいたします。
1:04:55	はい。
1:04:57	そうしましたら、
1:04:59	はい、ほかになれば、以上にしますか。
1:05:04	原燃さん大丈夫ですか。
1:05:07	はい。大丈夫です。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:09	はい。本日のヒアリングは以上にしたいと思いますお疲れ様でしたありがとうございます。
1:05:14	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。